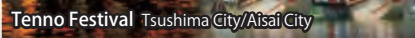


尾張津島 天王祭

津島市
愛西市

尾張津島天王祭の車楽舟行事



Tenno Festival Tsushima City/Aisai City

わが郷土固有の伝統文化…… 愛知が誇る祭りを世界に

祝

「山・鉾・屋台行事」 ユネスコ無形文化遺産 登録決定

Celebration
Yama/Hoko/Yatai
Designated UNESCO Intangible Cultural Heritage



Festivals of Aichi which we can be proud of in today's world

「山・鉾・屋台行事」の
ユネスコ無形文化遺産登録に向けた
取組についての連絡協議会

津島市 愛西市 知立市 犬山市 半田市 蟹江町

知立まつり 知立市

知立の山車文楽とからくり



Chiryu Festival Chiryu City

犬山祭 犬山市

犬山祭の車山行事



Inuyama Festival Inuyama City

亀崎潮干祭 半田市

亀崎潮干祭の山車行事



Kamezaki Shiohi Festival Handa City

須成祭 蟹江町

須成祭の車楽船行事と神祇流し



Sunari Festival Kanie Town



「山・鉾・屋台行事」の ユネスコ無形文化遺産登録について

平成28年のユネスコ無形文化遺産保護条約第11回政府間委員会において、日本が提案してきた国指定重要無形民俗文化財である33件の「山・鉾・屋台行事」が審査され、ユネスコ無形文化遺産に登録(代表一覧表に記載)するとの決議がなされました。

「山・鉾・屋台行事」は、私たちの生活の一部であり、誇りです。先人により継続されてきた郷土固有の伝統文化としての意義だけでなく、今日では、地域コミュニティを支える根幹として、また多世代の交流から人間関係や社会規範を学ぶ場としても大きな意義をもっています。

今回の登録決定により、日本の誇る多様な祭礼文化が、人類の創造性を証明する「生きた文化」の一つとして国際理解の向上に貢献し、また、祭礼が行われる各地域においては、文化的価値が広く認識され、地域の活性化に繋がっていくものと確信します。

私たち6市町は、無形文化遺産登録決定を追い風にして、地元保存会等とともに「山・鉾・屋台行事」を後世に保存・継承していく取り組みを着実に進めています。

津島市 愛西市 知立市 犬山市 半田市 蟹江町

ユネスコ無形文化遺産

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の事業の一つ。無形文化遺産とは、人びとの慣習・描写・表現・知識及び技術並びにそれらに関連する器具、物品、加工品及び文化的空間のことをいいます。

同じくユネスコの事業である「世界遺産」が建造物などの形があるもの(不動産)を保護の対象としていることに対し、無形文化遺産は形のないものを保護の対象としています。

山・鉾・屋台行事

地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となり執り行う、各地域の文化の粋をこらした華やかな飾り付けを特徴とする「山・鉾・屋台」の巡行を中心とした祭礼行事





尾張津島天王祭の 車楽舟行事

津島市
愛西市



宵祭 まきわら船



朝祭 車楽



児(ちご)上陸 (市江車)

Tenno Festival Tsushima City/Aisai City

文化財の概要 昭和55年1月、国重要無形民俗文化財に指定

7月第4土曜日とその翌日に行われ、それぞれ宵祭(古くは試楽と称した)、朝祭と呼ばれ、舟の山車行事であることに特色があり、祭船は「車楽」と呼ばれます。

宵祭は、旧津島5カ村の米之座、下構、堤下、筏場、今市場から5艘が屋台の上に半円、山型に400箇あまりの提灯を飾り、中央高く立たた真柱には12箇の提灯をかかげたまきわら船で、川面に浮かび幽玄的な世界へ誘います。

朝祭では、市江車と称する旧市江村から出る車楽舟を先頭とし、装いを新たにし能人形が飾りつけられた車楽舟5艘とともに天王川をのぼります。途中、市江車から10人の裸の若者が鉾を持って次々に川に飛び込み、舟より先に着岸し、御旅所の神輿に参拝します。続いて車楽舟からちごが、上陸して警固役の肩車に乗って御旅所に参拝し、神輿を還御供奉して津島神社に行き、拜殿における神前奏楽に至る一連の様は人々を絢爛豪華な世界へ誘います。

津島神社の祭礼として600年近く続く天王祭、永禄元年(1558年)織田信長が現在の御旅所付近で朝祭を見物しています。



如意点火~提灯点火



鉾持飛び込み(市江車)

開催予定日

尾張津島 7月第4土曜とその翌日

天王祭 宵祭 PM.6:00~ 朝祭 AM.8:40~

天王川公園(小雨決行) 天王川公園(小雨決行)

お問い合わせ

愛知県津島市教育委員会社会教育課 ☎0567-24-1111
愛知県愛西市教育委員会生涯学習課 ☎0567-55-7137

津島市 天王祭 検索
愛西市 天王祭 検索



知立の山車文楽とからくり

知立市



山車文楽(山町)



山車文楽(宝町)



山車文楽(本町)

Chiryu Festival Chiryu City

文化財の概要

平成2年3月、国重要無形民俗文化財に指定

知立神社の祭礼である「知立まつり」は、江戸時代(1653年—「中町祭礼帳」による)から続いており1年おきに本祭と間(あい)祭が5月2日(試楽)、3日(本楽)に行われ、本祭には豪華絢爛な5台の山車が、間祭にはきれいに彩られた5台の花車が奉納されます。

本祭で知立神社に山車が奉納された後、山町、中新町、本町、宝町による山車文楽と西町による山車からくり人形芝居が上演されます。

山車文楽は1747年から行われていたと言われており山車の上で人形浄瑠璃を演ずる形は全国でも知立だけです。また山車からくりは1724年より上演されていたという記録があり、浄瑠璃に合わせて芝居形式での上演は大変珍しいといわれています。山車文楽は、知立神社境内のみでなく、町の辻々でも上演されます。



山車からくり(西町)

開催予定日

知立まつり

毎年5月2日[試楽] 5月3日[本楽]

山車文楽からくり上演は、本祭の午後2時より知立神社境内にて(次回の本祭は2018年)

愛知県知立市教育委員会文化課文化振興係 ☎0566-83-1133

(知立市歴史民俗資料館内)

知立市

検索

知立市観光協会 ☎0566-83-1111

知立市観光協会

検索

お問い合わせ

犬山祭の車山行事

犬山市



提灯に彩られる夜車山



からくり人形の妙技



車山の装飾

Inuyama Festival Inuyama City

文化財の概要

平成18年3月、国重要無形民俗文化財に指定

犬山祭は、当地の産土神を祀る針綱神社の祭礼であり、1635年(寛永12年)、尾張徳川家附家老である犬山城主成瀬隼人正正虎公の奨励で始まって以来、今日まで継承されています。

祭りの主役は13輛の車山(やま)で、いずれも三層から成る豪華なものです。車山の上では江戸時代から伝わるからくり人形が操られ、様々な演技が奉納されます。また、手子連による豪快な曳き回し(「どんでん返し」「車切」)や、お囃子方子供連の着用する金襦袢などが祭りに一層の華を添えます。夜には、車山に飾られた提灯に蠟燭の灯が灯され、夜桜の下の巡行が人々を夢幻の世界へと誘います。



どんでん：車山の方向転換



金襦袢を着た太鼓打ち

開催予定日

犬山祭 4月第1土曜[試楽]とその翌日[本楽]

9:00頃~21:30頃 犬山城下

お問い合わせ

愛知県犬山市教育委員会歴史まちづくり課 ☎0568-44-0354

犬山祭保存会(犬山市文化史料館内) ☎0568-62-4802

犬山祭の車山行事

検索

犬山祭

検索



亀崎潮干祭の 山車行事

半田市



波打ち際を進む5輛の山車



からくり人形「傀儡師(船弁慶)」：田中組神楽車



海浜曳き下ろし



精緻な彫刻「力雌神」：中切組力神車

Kamezaki Shiohi Festival Handa City

文化財の概要 平成18年3月、国重要無形民俗文化財に指定

潮干祭は、半田市の北東部、亀崎地区に所在する神前(かみさき)神社の祭礼です。祭神である神武天皇東征の折、海からこの地に上陸したとの伝説に因み、5輛の山車を潮干の浜へ曳き下ろしたことからこの名がつけられました。

祭りの伝統や風格は、強固な「組」組織によって300年もの長きにわたり、今日まで受け継がれています。

山車は精緻な彫刻、豪華な幕などで飾られ、精巧なからくり人形の技芸も奉納されます。

最大のみどころは、「海浜曳き下ろし」です。

一気に海浜へと駆け下り、波打ち際で方向を変え、ゴマ(車輪)を波に洗われながら進むさまは、まさに「勇壮」の一言に尽きます。



はんだ山車まつり

半田市には10地区31輛の山車があります。5年に一度、31輛の山車が勢揃いする「はんだ山車まつり」が盛大に開催されます。

(第8回はんだ山車まつり開催予定日:平成29年10月7日、8日)

開催予定日

亀崎潮干祭 前の日 **5月3日(祝)** 後の日 **5月4日(祝)**

お問い合わせ

愛知県半田市教育部博物館 ☎0569-23-7173
特定非営利活動法人 半田市観光協会 ☎0569-32-3264

半田市

検索

亀崎潮干祭

検索



須成祭の 車楽船行事と神葎流し

蟹江町



宵祭(御葎橋)



稚児行列



朝祭



神葎流し

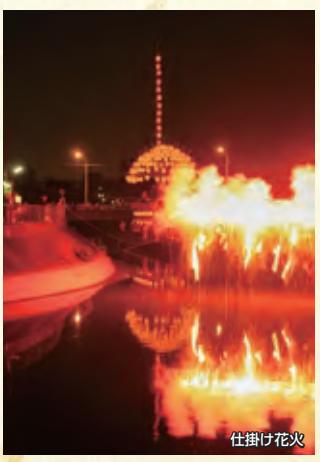
Sunari Festival Kanie Town

文化財の概要 平成24年3月、国重要無形民俗文化財に指定

須成祭は、400年あまり前から続く富吉建速神社・八剣社の祭礼であり、津島の天王祭とともに牛頭天王信仰のもと夏の疫病退散と五穀豊穡を願って行われてきました。

8月第1土曜・翌日曜に行われる宵祭・朝祭を中心とした「車楽船行事」と、「神葎流し」に関わる行事で構成され、宵祭では提灯をつけた葎巻船が、朝祭では人形を乗せた車楽船が囃子を奏でながら蟹江川を上り、華やかな姿を見せます。祭船を通過させるため、途中にある御葎橋が上がるさまは、一つのみどころとなっています。また、祭りの主役となる稚児らが豪華な衣装を身に着け、供とともに行列をなして船や神社に向かう様子も美しい光景です。

宵祭・朝祭の間、神社では川に茂る葎を束ねたご神体「御神葎様」が祀られ、朝祭翌日には、これに一切の災厄を封じ込めて川へ流す「神葎流し」がひっそりと行なわれます。この後、御神葎様は棚に引き上げられ、秋まで行事が続くため、須成祭は別名「100日祭り」とも呼ばれています。



仕掛け花火

開催予定日

8月第1土曜とその翌日
須成祭 宵祭 PM.7:30~ 朝祭 AM.9:00~
蟹江川飾橋~天王橋 蟹江川飾橋~天王橋

お問い合わせ

愛知県海部郡蟹江町教育委員会生涯学習課文化財保護係 ☎0567-95-3812

(蟹江町歴史民俗資料館)

蟹江町観光協会 ☎0567-95-1111

蟹江町 検索

須成祭 検索

わが郷土固有の伝統文化…

愛知のユネスコ無形文化遺産

平成27年3月に国は、ユネスコ無形文化遺産の候補として、重要無形民俗文化財に指定されている山車や屋台が町を巡る全国33件の祭りを一括提案（再提案）しました。愛知県からは、国内最多の5件の祭りが登録されています。



交通のご案内

尾張津島

天王祭

津島市 愛西市

- 名鉄「津島駅」下車、徒歩約20分
- 東名阪自動車道「弥富IC」から約15分、または東海北陸自動車道「尾西IC」から約35分

知立まつり

知立市

- 知立神社へ「名鉄名古屋駅」より名鉄本線「知立駅」まで特急で約20分、下車、徒歩10分

犬山祭

犬山市

- 「名鉄名古屋駅」より名鉄快速特急・特急で約25分
「中部国際空港駅」より名鉄ミュージスカイで約55分
→「犬山駅」下車、徒歩約15分

亀崎 潮干祭

半田市

- JR「亀崎駅」から徒歩10分
- 名鉄「知多半田駅」から「県社前」行バス乗車
「県社前」下車すぐ

須成祭

蟹江町

- JR関西線「蟹江駅」下車、徒歩10分
- 近鉄名古屋線「近鉄蟹江駅」下車、徒歩25分